

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	コーラス3	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	資料を配布する。参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	青野・平山	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
学習目的					
プロのミュージシャンになるにあたり、ソロヴォーカリストとしてだけでなく、様々なジャンルの職種で活動できるようグループでのコーラスワークを通じて歌唱する方法を学ぶ。楽曲がどのような構成で作られているかを理解する。コーラスワークを歌唱することによりハーモニーを習得し、ピッチやリズム感、音感を向上させる訓練をする。大人数で合唱することにより発声を安定させ、大きな声量で歌えるように喉や身体を訓練することを目的とする。					
到達目標					
前期では、以下の4点の能力を獲得することを到達目標として設定する。①楽器の伴奏に合わせ正しい音を歌唱することができる。また、他人と合わせて声量をコントロールすることができる。②楽曲において美しいハーモニーが成立しているかを判断することができる。③他のパートの音を聴きながら自分のパートを歌唱することができる。④スタンダードな3度、5度のコーラスワークを理解し、伴奏またはアカペラで歌唱することができるようになることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	前期では、3声のコーラスワークについて学ぶ。楽譜を配り伴奏に合わせてメロディを覚え歌えるようにする。自身のパートを覚え、他のパートにつられる事のないように歌うことによりイヤートレーニングも兼ねて指導する。各パートに分かれて練習したのち全体で合わせてハーモニーをつくっていく。楽曲が仕上がったら授業内でグループ毎に発表し、パフォーマンスの技術を学ぶ。他のグループの仕上りを観ることで自身の技術の向上に役立てる。				
注意点	プロの現場に必要なマナーの観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	課題曲1「Seasons Of Love」(1)	英詞の発音、リズム感を理解する。			
2回	課題曲1「Seasons Of Love」(2)	メロディとハーモニーの構成について理解する。			
3回	課題曲1「Seasons Of Love」(3)	他のパートの音を聴きながら自身のパートを歌唱することができる。			
4回	課題曲1「Seasons Of Love」(4)	コーラスワークを美しく演奏しながら魅力的なパフォーマンスができる。			
5回	課題曲2「Winding Road」(1)	メロディとリズム、グルーヴィな歌い回しを理解する。			
6回	課題曲2「Winding Road」(2)	他のパートの音を聴きながら自身のパートを歌唱することができる。			
7回	課題曲2「Winding Road」(3)	コーラスワークを美しく演奏しながら魅力的なパフォーマンスができる。			
8回	課題曲3「This is me」(1)	英詞の発音、リズム感を理解する。			
9回	課題曲3「This is me」(2)	メロディとハーモニーの構成について理解する。			
10回	課題曲3「This is me」(3)	他のパートの音を聴きながら自身のパートを歌唱することができる。			
11回	課題曲3「This is me」(4)	コーラスワークを美しく演奏しながら魅力的なパフォーマンスができる。			
12回	課題曲4「Joyful Joyful」(1)	英詞の発音、リズム感を理解する。			
13回	課題曲4「Joyful Joyful」(2)	メロディとハーモニーの構成について理解する。			
14回	課題曲4「Joyful Joyful」(3)	他のパートの音を聴きながら自身のパートを歌唱することができる。			
15回	課題曲4「Joyful Joyful」(4)	コーラスワークを美しく演奏しながら魅力的なパフォーマンスができる。			